

週間火山概況 (平成 20 年 6 月 13 日 ~ 平成 20 年 6 月 19 日)

気象庁地震火山部

いずれの火山についても予報警報事項に変更はない。

6 月 19 日現在の火口周辺警報、噴火警報及び噴火予報等の発表状況は以下のとおり。

火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）

桜島

火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）

三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島

火口周辺警報（火口周辺危険）

硫黄島

噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報

福德岡ノ場

噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）

樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、富士山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢、新燃岳)、口永良部島

噴火予報（平常）

上記以外の火山



図1 火口周辺警報及び噴火警報発表中の火山の噴火警戒レベル等の状況(6月19日現在)

噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており(本概況末の対応表参照)、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となる。

火山の概況は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) にも掲載しています。

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

栗駒山 [噴火予報(平常)]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

なお、14日08時43分に「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」(マグニチュード¹⁾7.2(暫定値)の発生後、16日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により、震源に近い栗駒山及びその周辺の上空からの観測を行った。栗駒山の山頂北側の噴気地帯等に大きな変化は認められなかった。

1) マグニチュードは地震の規模を示す。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがある。

三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。

今期間、火山ガス放出量の観測を行わなかったが、三宅村によると山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

三宅島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要である。また、風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。降雨時には泥流にも注意が必要である。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過している。国土地理院の観測によると、2006年8月以降みられていた島全体が大きく隆起する地殻変動は、2008年5月以降鈍化している。

硫黄島では、過去火山活動が低下したのちに噴火が発生したこともあり、引き続き火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に対する警戒が必要である。

福德岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]

今期間観測は行われなかった。なお、これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海面に、長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要である。

桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、13日に爆発的噴火²⁾が2回発生した。これらの噴火で噴煙が火口縁上概ね2,500mまで上がり、5合目(昭和火口からの水平距離は概ね500~800m)まで大きな噴石³⁾の飛散が確認された。火砕流の発生はなかった。このほか、ごく小規模な噴火も時々発生した。

今期間、南岳山頂火口では噴火は発生しなかった。

国土地理院のGPS観測によると、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が続いている。

桜島の昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、2008年4月から6月にかけて爆発的噴火の回数が増加するなど次第に活発化している傾向がみられることから、南岳山頂火口及び昭和火口から2km程度の範囲で大きな噴石及び火砕流に引き続き警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき⁴⁾)にも注意が必要である。降雨時には泥流や土石流に注意が必要である。

2) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または鹿児島地方気象台や桜島島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。

3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」

とは、「弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、それより小さく風の影響を受ける噴石は、例えば「風の影響を受ける小さな噴石」という表現を用いる。

4) 桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。

薩摩硫黄島では硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要である。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

17日に御岳火口で小規模な噴火が発生した。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島では今後も御岳火口から半径約1kmの範囲に大きな噴石³⁾を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要である。

上記以外の火山では、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合は生命に危険が及ぶ）噴火の兆候はみられない。

【参考】 噴火警報と噴火警戒レベル等の対応表

警報・予報	噴火警戒レベルとキーワード	噴火警戒レベルを導入していない火山に対するキーワード	海底火山に対するキーワード
噴火警報	レベル5（避難）	居住地域嚴重警戒または山麓嚴重警戒	周辺海域警戒
	レベル4（避難準備）		
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	入山危険	
	レベル2（火口周辺規制）	火口周辺危険	
噴火予報	レベル1（平常）	平常	平常